

普通の生活が戻りますように ～「ウイルス戦争」に勝ち抜こう～

26期生 くわな こうじ 桑名 耕治

好天に恵まれた桜の季節も知らぬままに過ぎさり心が晴れない日々が続きます。新型コロナウイルスの暗い雲が世界を覆い感染の勢いが収まる気配がなく町の活気も消えています。

外出自粛により藤井寺市のスポーツも完全ストップしています。私は一人ジョギングや夫婦登山で体調維持に努めていますが、仲間とソフトボールをする楽しみを奪われ「悶々とした日々」を送っています。

東京の息子夫婦も二人の孫の面倒を見ながらの在宅勤務で苦勞していますが助けに行くこともできません。皆さんもご苦勞されていることと思いますが今は「やれることはやり切り」まず家族を守りましょう。

極めて深刻な状況にもかかわらず政府の対応にスピード感が見られません。緊急の財政支援で医療崩壊を食い止め重篤患者の命を守ってほしい。医療現場の方々の命を守ってほしい。中小企業や働く者全ての生活を守ってほしい。

私たち国民が一枚岩となれば「ウイルス戦争」に勝ち抜けるでしょう。その先にソフトボールを楽しむ仲間の姿が見えます。はやく普通の生活が戻りますように。



2020年4月20日記